本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

NEWアダージオDX

変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜自由選択コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2024年9月末現在

○市場概況
○特別勘定の運用状況
○組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：
ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：
ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.243%（税抜1.13%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：
年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：
ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[募集代理店]
株式会社横浜銀行
〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

[引受保険会社]
オリックス生命保険株式会社

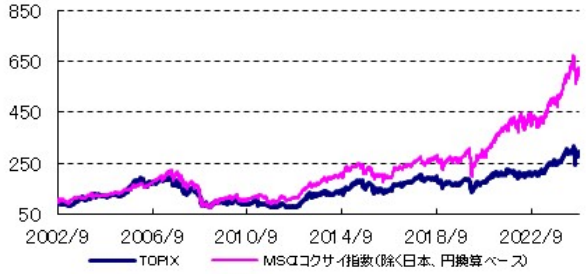
（管）ORI-025

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 1.88%	▲ 4.20%	▲ 6.07%	19.03%	28.75%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 2.46%	▲ 5.83%	▲ 4.43%	13.88%	30.33%
日本債券	NOMURA－BPI総合	0.28%	1.35%	▲ 1.13%	▲ 0.76%	▲ 6.40%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	1.09%	▲ 6.44%	2.44%	24.98%	58.57%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	▲ 0.08%	▲ 5.66%	▲ 0.25%	8.01%	15.21%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	▲ 1.43%	▲ 11.39%	▲ 5.73%	▲ 4.58%	27.53%

日経平均株価(円)の推移

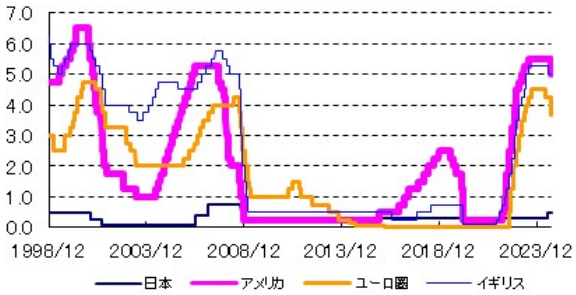
日本と外国の株式市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分（%）		資産合計（百万円）
	株式		債券				投資信託	現預金その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式グロースファンド FIE	●				フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	97.0%	3.0%	2,233
日本株式インデックスファンド225 NKA	●				インデックスファンド225　VA＊	日興アセットマネジメント株式会社	96.2%	3.8%	1,405
世界株式グロースファンド NK	●	●			グローバル成長株ファンド	日興アセットマネジメント株式会社 【運用再委託会社】 ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	96.0%	4.0%	359
外国債券ファンド PJ				●	ピムコ・海外債券ファンド＊	ピムコ ジャパン リミテッド	97.1%	2.9%	157
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	193

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
インデックスファンド225　VA＊	主に日本株式に投資することによって、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。
グローバル成長株ファンド	主に日本を含む先進各国の上場株式に投資します。世界的な視点で見て競争力に優れた成長企業の株式に投資し、中長期的な観点から、世界株式の代表的指数であるMSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）を上回る投資成果の獲得を目指します。
ピムコ・海外債券ファンド＊	主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式グロースファンド FIE

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−1.13%	−5.97%	−4.77%	9.68%	5.89%	112.02%

日本株式インデックスファンド225 NKA

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−1.47%	−4.03%	−6.15%	17.61%	26.10%	192.68%

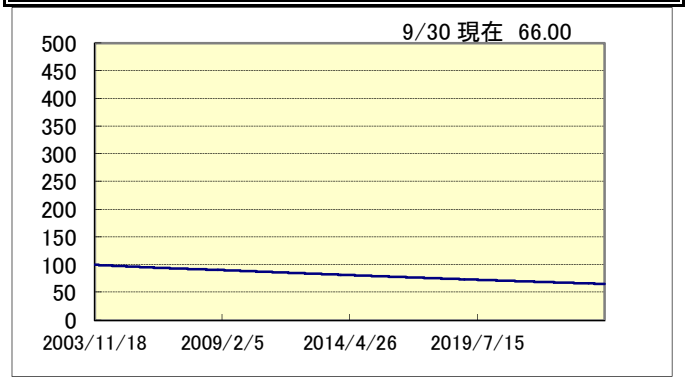
世界株式グロースファンド NK

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.69%	−8.67%	−0.73%	28.99%	29.18%	321.78%

外国債券ファンド PJ

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.05%	−6.46%	−1.99%	5.56%	5.49%	52.03%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.02%	−0.06%	−0.38%	−1.41%	−5.42%	−34.00%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式グロースファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績　（2024年9月30日現在）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2024年9月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	−0.99%	−5.63%	−3.87%	12.31%	12.82%	332.90%
ベンチマーク	−1.53%	−4.90%	−3.29%	16.57%	40.52%	332.87%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）
＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 18期(2019.12.02)	0円
第 19期(2020.11.30)	0円
第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円

純資産総額	21.7 億円	（2024年9月30日現在）

コメント　（2024年9月30日現在）

当月の東京株式市場は、米国景気の減速懸念が高まる中で始まり、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ決定を受けて持ち直しましたが、月末は自民党総裁選に対する思惑から値動きが荒くなり、月間では下落しました。
米国で軟調な雇用関連指標が相次いで米景気の先行きに対する警戒感が強まる中、円高ドル安の進行も重石となり、株価は月初より大きく下落しました。しかし中旬に入って人工知能（AI）向け半導体について強気な見通しが広がったことや円高進行が一服したことなどを背景に持ち直すと、米連邦準備制度理事会（FRB）が0.5%の大幅利下げを決定し、米国経済の軟着陸期待が高まる中で株価は上昇幅を広げました。その後も日銀が利上げを急がない姿勢を示したこと、また高値更新を続ける米国株の動きや中国当局による景気刺激策の発表などが好材料となる中、自民党総裁選での高市氏勝利を見込んだ買いも加わって、株価は一段と上昇しました。しかし総裁選で石破氏が逆転勝利すると、高市氏勝利を見込んだ買いが巻き戻され、株価は最終日に急落し、月の騰落率をマイナスに沈めました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が－1.53%、日経平均株価は－1.88%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2024年8月30日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	3.9%
2	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.8%
3	日立製作所	電気機器	3.6%
4	伊藤忠商事	卸売業	3.4%
5	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	3.3%
6	三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.2%
7	信越化学工業	化学	3.0%
8	東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	2.7%
9	本田技研工業	輸送用機器	2.5%
10	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ	電気機器	2.2%

（ 組入銘柄数 ： 179 ）　上位10銘柄合計　31.6%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2024年8月30日現在）

資産別組入状況

株式	98.3%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	−
投資信託・投資証券	−
現金・その他	1.7%

市場別組入状況

東証プライム	96.1%
東証スタンダード	1.7%
東証グロース	0.4%
その他市場	−

組入上位5業種

電気機器	21.0%
銀行業	8.5%
輸送用機器	8.0%
卸売業	6.6%
化学	5.9%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド225 NKA

【特別勘定が投資する投資信託】
インデックスファンド225 VA（適格機関投資家向け）

【運用会社】
日興アセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にインデックスマザーファンド225受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「日興バーラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	53,112円
純資産総額	15.08億円

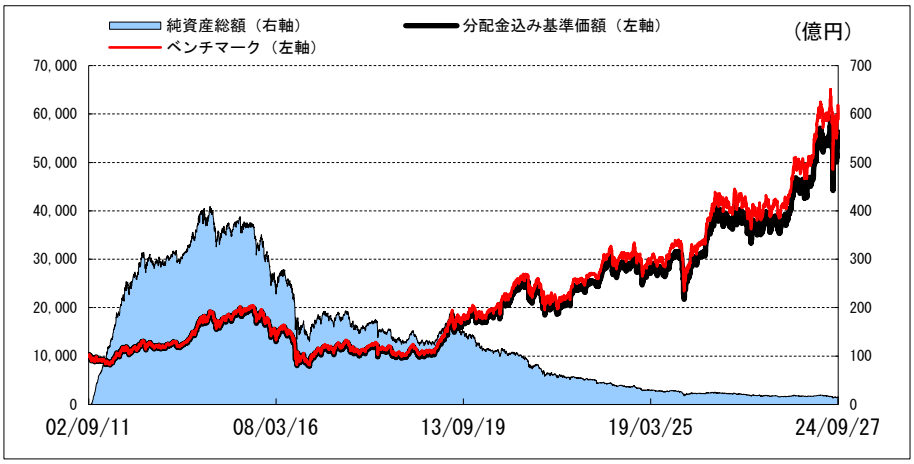
◆資産構成

株式		97.98 %
	プライム	97.98 %
	スタンダード	0.00 %
	グロース	0.00 %
	その他	0.00 %
株式先物		0.86 %
株式実質		98.84 %
現金その他		2.02 %

※当ファンドの実質の組入比率です。

◆基準価額の推移グラフ

基準日　2024年9月30日



※基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
※ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。
※2023年9月16日に、当ファンドのベンチマークを「日経平均株価（２２５種・東証）」から「日経平均トータルリターン・インデックス」に変更しました。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	-3.61 %	-5.46 %	20.64 %	10.53 %	13.43 %	10.53 %	7.93 %
ベンチマーク収益率	-3.50 %	-5.24 %	21.18 %	11.02 %	13.94 %	11.02 %	8.39 %
差　異	-0.11 %	-0.21 %	-0.55 %	-0.49 %	-0.50 %	-0.49 %	-0.46 %
ファンドリスク（分配金再投資）			15.96 %	15.27 %	16.53 %	16.31 %	18.18 %
ベンチマークリスク			15.97 %	15.27 %	16.53 %	16.31 %	18.18 %

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆株式組入上位10業種

	業種名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1	電気機器	25.20 %	25.42 %
2	小売業	13.80 %	15.11 %
3	情報・通信業	10.86 %	10.89 %
4	化学	6.53 %	6.62 %
5	医薬品	5.98 %	6.03 %
6	機械	4.72 %	4.76 %
7	サービス業	4.44 %	4.47 %
8	輸送用機器	3.90 %	3.93 %
9	精密機器	3.83 %	3.86 %
10	卸売業	3.12 %	3.15 %

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

◆株式組入上位10銘柄（組入銘柄数 225銘柄）

	銘柄名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1	ファーストリテイリング	10.94 %	12.26 %
2	東京エレクトロン	6.48 %	6.54 %
3	アドバンテスト	4.61 %	4.65 %
4	ソフトバンクグループ	4.32 %	4.36 %
5	信越化学工業	2.55 %	2.58 %
6	ＫＤＤＩ	2.36 %	2.38 %
7	ＴＤＫ	2.34 %	2.36 %
8	リクルートホールディングス	2.23 %	2.25 %
9	テルモ	1.85 %	1.86 %
10	ファナック	1.79 %	1.81 %

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式グロースファンド NK

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバル成長株ファンド
【運用会社】
日興アセットマネジメント株式会社
【運用再委託会社】
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

主要投資対象
主に先進各国の証券取引所上場株式。主にGグロース／海外株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
主に日本を含む先進各国の上場株式に投資します。世界的な視点で見て競争力に優れた成長企業の株式に投資し、中長期的な観点から、世界株式の代表的指数であるMSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）を上回る投資成果の獲得を目指します。

（データは2024年9月30日現在）

［純資産総額］ 61.89億円
［決算日］ 原則3月25日
［設定日］ 2001年10月2日
［基準価額］ 63,838円
［信託期間］ 無期限
［為替ヘッジ率］ 0.0%

＜運用担当者のコメント＞

9月のグローバル株式は上昇しました。米国市場は景気後退を警戒したリスク回避の売りが優勢となって始まりましたが、大幅下落の反動で主力株を中心に買い戻しが入ると上昇に転じました。米連邦準備制度理事会（FRB）は0.5%の大幅利下げを決定し、その後の利下げペースが緩やかになるとの見方が強まったことから投資家心理が改善し、ハイテク株に見直し買いが広がりました。また、業績が景気動向に左右されにくいディフェンシブ銘柄にも物色の矛先が向かい、相場を支えました。欧州市場、アジア市場も下落して始まったのち、米国の利下げ局面入りが投資家心理の支えとなり反発しました。その後も中国の景気浮揚策の発表などが好感され、底堅い推移が続きました。

当月は、中国のネットサービス会社や、米国の大手半導体メーカーの株価が上昇したことはプラス寄与となりました。一方で、米国の化粧品メーカーや、米国の製薬会社の株価が下落したことはマイナス寄与となりました。投資行動としましては、当月は中国のネットサービス会社や、日本の自動制御機器メーカーを購入しました。一方で、フランスの航空機及び軍用機器メーカーや、韓国の総合家電・電機メーカー最大手を売却しました。

9月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは、情報技術、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービスなどで、対してアンダーウェイトとしているのは、金融、エネルギー、素材などです。

今後も銘柄選択ならびにセクター選択を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

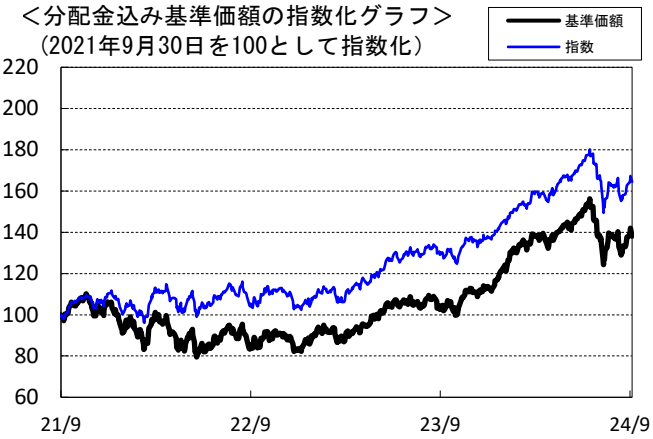
※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

＜分配金込み基準価額のパフォーマンス＞

	１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
ファンド	0.83%	-8.53%	0.11%	32.42%	38.10%	586.91%
指数	1.28%	-5.92%	3.03%	26.37%	64.48%	635.38%

※基準価額のパフォーマンスは、当ファンドに分配実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

＜分配金込み基準価額の指数化グラフ＞
（2021年9月30日を100として指数化）



※基準価額は信託報酬控除後の値です。
※基準価額は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※「指数」は、MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）です。MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
※2024年1月26日に、当ファンドのベンチマークを「ＭＳＣＩ－ＷＯＲＬＤインデックス（円ベース）」から「MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」に変更しました。

＜資産構成比＞

国内株式（先物含む）	3.6%
外国株式（先物含む）	95.0%
ＣＢ	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	1.5%

＜株式組入上位５ヵ国＞

	国 名	比率
1	アメリカ	66.1%
2	オランダ	6.5%
3	フランス	4.4%
4	日本	3.6%
5	アイルランド	3.0%

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数　56銘柄）

	銘 柄	通 貨	業 種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	8.0%
2	AMAZON.COM INC	アメリカドル	一般消費財・サービス流通	6.0%
3	MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	5.1%
4	APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	5.0%
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.1%
6	ELI LILLY & CO	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	3.2%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカドル	メディア・娯楽	2.9%
8	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.1%
9	MASTERCARD INC - A	アメリカドル	金融サービス	2.1%
10	UBER TECHNOLOGIES INC	アメリカドル	運輸	2.1%

※ 「株式組入上位５ヵ国」「株式組入上位10銘柄」の比率は、マザーファンドの状況で、対純資産総額比です。
「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。
※ このレポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。
※ このレポートのグラフやデータ等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※ 当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ピムコ・海外債券ファンド（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピムコジャパンリミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運 用 方 針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託／ファンドオブファンズ]　　[設定日]　2002年9月24日

[基準価額]　24,836 円　　[決算日]　毎年9月25日

1. パフォーマンス

騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	設定来
ファンド*	0.11%	-5.62%	-0.53%	8.38%	6.92%	4.22%
ベンチマーク**	-0.08%	-5.66%	-0.25%	8.01%	6.62%	3.80%
超過収益	0.19%	0.04%	-0.28%	0.37%	0.30%	0.42%

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。

**2022年12月15日以降はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）。
それ以前は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）90%、ICE BofA TONAR オーバーナイトレートインデックス10%を合成したものを使用しています。

分配実績

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
日付	03/09/25	04/09/27	05/09/26	06/09/25	07/09/25	08/09/25	09/09/25	10/09/27	11/09/26	12/09/25
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	累計
日付	13/09/25	14/09/25	15/09/25	16/09/26	17/09/25	18/09/25	19/09/25	20/09/25	21/09/27	22/09/26	23/09/25	24/09/25	-
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

PIMCO

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ピムコ・海外債券ファンド（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピムコ ジャパン リミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運 用 方 針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

2. ファンド特性

【ファンドの一般的特性】

平均クーポン	3.59%
平均直接利回り	3.72%
平均最終利回り	3.26%
平均デュレーション(年)	6.36
平均償還期間(年)	8.26
平均格付け*	AA+
債券組入比率	99.18%

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

【格付構成比】

格付	組入比率
AAA	75.79%
AA	8.72%
A	8.83%
BBB	6.45%
BB以下	0.09%
A1/P1	0.00%
A2/P2	0.13%
合計	100.00%

【国別配分】

国名	組入比率
アメリカ	39.77%
ユーロ圏	32.98%
イギリス	14.49%
中国	6.38%
オーストラリア	5.23%
デンマーク	2.22%
カナダ	0.76%
その他	-1.83%
合計	100.00%

【種類別配分】

セクター名	組入比率
国債、エージェンシー債	76.82%
モーゲージ債、アセットバック債	17.20%
社債	4.86%
キャッシュ等*	1.12%
合計	100.00%

*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

3. 運用担当者のコメント

《市場コメント》

米国債券相場は、月前半、8月のISM（米供給管理協会）製造業景気指数が５カ月連続で景気の好不況の節目となる50ポイントを下回ったことや７月の求人件数が市場予想を大幅に下回ったことなどを背景に、FRB（米連邦準備制度理事会）による大幅利下げ観測が強まり上昇しました。月後半、FOMC（米連邦公開市場委員会）にて0.5%の利下げが決定されたものの、パウエルFRB議長が会合後の記者会見で今後も同程度の利下げが実施されることを示唆したものではないと発言したことを受けて、今後の利下げペースは緩やかなものに止まるとの観測が広がり下落しました。月を通じて見ると、米国債券相場は上昇しました。（2年債利回りは前月比0.28%低下、10年債利回りは前月比0.12%低下しました。）欧州債券相場は、月前半は米国の大幅な利下げ観測が強まったことや、ECB（欧州中央銀行）が追加利下げを決定し今後の継続的な利下げを示唆したことなどがプラス要因となり上昇しました。月後半は、ユーロ圏PMI（購買担当者景気指数）が50を下回るなど景気に対する不透明感が強まった一方、米金利上昇の影響を受ける中、強弱入り混じる展開となり、相場は横ばいとなりました。月を通じて見ると欧州債券相場は上昇しました。（2年債利回りは前月比0.32%低下、10年債利回りは前月比0.18%低下しました。）英国債券相場は、月前半、市場予想を下回る米ISM製造業景気指数や求人件数などを背景に米FRBの大幅利下げ観測が強まったことなどを受け、上昇しました。月後半は、英小売売上高指数が大きな伸びを示したことやBOE（イングランド銀行）が政策金利を据え置き改めて段階的な利下げスタンスを示したことなどがマイナス要因となり、下落しました。月を通じてみると上昇しました。（2年債利回りは前月比0.13%低下、10年債利回りは前月比0.01%低下しました。）日本債券市場では、ECBの追加利下げやFRBの0.5%の大幅利下げなどを背景に、日銀による追加利上げ観測が後退したことから、買いが優勢となりました。日銀金融政策決定会合後の記者会見で、植田総裁が政策判断には時間的な余裕があると述べたこともプラス要因となり、月を通じてみると日本債券相場は上昇しました。（2年債利回りは前月比0.02%上昇、10年債利回りは前月比0.04%低下しました。）

《パフォーマンス》

先月のパフォーマンスはプラス0.11%となり、ベンチマークを0.19%上回りました。欧州の金利リスクを少なめとしたことがプラスに寄与しました。

《今月の運用方針》

世界経済については、米国を除いて多くの先進国で景気が停滞傾向となった一方で、米国は他の先進国に比べて堅調さを維持し他地域とは一線を画してきました。8月に米景気の減速を示す一部の経済指標の発表を受けて、金融市場は不安定な動きとなる局面もありましたが、PIMCOでは米景気について年末にかけては穏やかな景気減速に留まる可能性が高いとみています。また、金融政策については、既に利下げを開始したECBやBOEに続いて、FRBも9月に利下げを開始しており、主要国では当面利下げを継続していくとみています。米国については、インフレが沈静化し、成長率と雇用の伸びが鈍化するなか、FRBは9月に利下げを開始しました。米国における個人消費は引き続き底堅く、投資の伸びも加速しているようにみえることから、PIMCOでは米国が景気後退入りする可能性は低いと考えています。一方、景気は緩やかな減速が続くとみられ、当面は会合ごとに0.25%の利下げが実施されると予想しています。労働市場の一段の悪化が確認されれば利下げペースが速まる可能性もあるでしょう。ユーロ圏については、ECBが金融緩和方向へと転換を図っていることなどを踏まえて、年初に想定した今年の成長率を小幅に上方修正しました。緩やかな経済成長のなかで企業の利益率が鈍化すると共に賃金上昇も抑えられるとみるなか、インフレ率については低下を続け、2025年内には政策目標水準に収れんしていくと予想しています。金融政策については、ECBは6月の利下げ以降、2回目となる利下げを9月に実施しましたが、今後も利下げを継続し、最終的な政策金利水準は2%程度になるとみています。ファンドの運用に際しては、他主要国対比で投資妙味が高いと考えられる英国やオーストラリアの金利リスクを多めにする一方、米国や中国の金利リスクを少なめとし、全体では金利リスクを少なめとします。セクター戦略については、リスクを考慮しても魅力的な利回りを提供すると考えられる金融債などの社債に選択的に投資します。また、インフレ率が高まる可能性があることから米物価連動債も選択的に保有を継続します。

＊ 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

市況データ出所：ブルームバーグ

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2024年9月30日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	49,993,466,660	8.1%
（うち固定債）	(49,993,466,660)	8.1%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	568,814,096,761	91.9%
（うちコールローン）	(299,052,000,000)	48.3%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(269,762,096,761)	43.6%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	706,851	0.0%
純資産総額	618,808,270,272	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,188.08億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.6日

■国内（邦貨建）公社債（新株予約権付社債（転換社債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	50,000,000,000	49,993,466,660	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	50,000,000,000	49,993,466,660	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	8.1%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。